

神経障害性疼痛関連歯科学会合同シンポジウム2016

歯科医師に求められる

神経障害性疼痛に対する知識と診療上の注意点

ー特に新規保険適応薬アミトリプチリン(トリプタノール®)の使用についてー

期日：平成28年12月11日（日）9:30～16:00

会場：慶應義塾大学 新教育研究棟 4階講堂

参加費：事前5,000円（11月30日締切）
当日7,000円

申込先：日本口腔顔面痛学会事務局(担当：杉崎・森)
jsop-service@onebridge.co.jp

事前申し込みの方には、メールで登録証をお送りします。
当日、プリントアウトのうえ、ご持参下さい。

主催：日本口腔顔面痛学会

共催：日本口腔外科学会、日本歯科麻酔学会、
日本歯科薬物療法学会（五十音順）

後援：日本歯科医学会、日本歯科医師会



プログラム

Part1（9:30～12:00）座長：嶋田昌彦

口腔顔面領域の神経障害性疼痛とは？（神経障害性疼痛概論）（今村佳樹）

神経障害性疼痛の発症機序（岡田明子）

神経系の評価と神経障害性疼痛治療の診断（大久保昌和）

神経障害性疼痛ガイドラインにおける海外の動向（安藤彰啓）

もし、神経を損傷したら？（神経損傷時の対応）（福田謙一）

Part2（13:00～16:00）座長：笠原正貴

口腔顔面痛に対するアミトリプチリン使用の意義と注意点（和嶋浩一）

薬物療法上の注意点（戸苅彰史）

関連医科との連携における注意点（伊藤幹子、徳倉達也）

口腔顔面痛治療上の法的注意点（佐久間泰司）

総合討議